

福岡アジア美術館レジデンス事業【第3期】 国内外アーティストの創作活動をご取材ください!!

 アーティスト
 カフェで制作中!

福岡アジア美術館では、1999年からレジデンス事業として、国内外から注目のアーティストを公募・招へいし、作品制作やワークショップなどの美術交流活動を行っています。

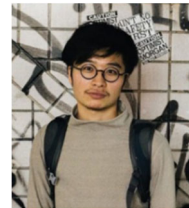
本年度第3期(令和5年1~3月)は、これまでで初となる南米ペルーからのアーティストを含む、以下の3組が福岡に滞在し、Artist Cafe Fukuoka を拠点に活動を行っています。

3月10日までの滞在期間中はいつでも取材可能ですので、この福岡で新しいアートが生まれる瞬間や、そこに込められたアーティストたちの思い、ワークショップ参加者たちの熱意などを、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。(事前にご連絡いただければ、取材日を調整いたします。)

1. レジデンス事業【第3期】アーティスト

下寺 孝典[タイヤ](しもでら・たかのり) 1994年生、大阪市在住

- ・福岡の屋台についてのリサーチを元に作品を制作
地元福岡の屋台職人に取材しながら、職人とのコラボレーションによる屋台作品を制作しています。



長野 櫻子(ながの・さくらこ) 1989年生、福岡市在住

- ・コロナ禍と孤立をテーマとしたアニメーション作品
福岡市民への取材を終え、これからはそのコロナ禍での体験談をもとに手描きのアニメーションを制作。



ドクペルー(ホセ・バラド、ヒメナ・モーラ) ペルー、リマ在住

- ・テーマは「記憶を編む」。市民とともに制作
滞在制作:全6週間・参加無料のドキュメンタリー映像制作のワークショップを開催中(学生含む23名が参加)。
※ワークショップの様子、参加者へのインタビューも取材いただけます。(ワークショップの開催日はお問い合わせください。)



2. レジデンス事業【第3期】概要

- 滞在期間：令和5年1月10日(火)～3月10日(金)
- 滞在場所：Artist Cafe Fukuoka [旧舞鶴中、福岡市中央区城内2-5]
- 今後の予定：令和5年2月25日(土)～3月5日(日)の期間中、アーティストの滞在制作作品を展示予定です。また、2月25日(土)13時よりアーティスト・トークと上映会を開催予定です。改めてお知らせいたします。

【お問い合わせ】福岡アジア美術館 交流・教育係 (中尾/五十嵐/蒲池/山口)
 TEL: 092-263-1103 FAX: 092-263-1105
 E-mail: tomo@faam.ajibi.jp/rina@faam.ajibi.jp/mimi@faam.ajibi.jp